

令和7年度 小松市立丸内中学校 学校経営計画

1 学校教育目標

心身ともに健康で、自主自律の精神に富み、人間性豊かな丸中生徒の育成

(1) めざす生徒像 ～自主・自律・活力ある丸中生徒～

- ・主体的に学習や活動に取り組む生徒〈自主〉
- ・自らを律し、他と協調し、心を通わせることができる生徒〈自律〉
- ・進取の気性に富み、たくましく生きる力を持った生徒〈活力〉

(2) めざす学校像

- ・教職員が目標を一つにし、共通理解・共通行動をとれる学校
- ・生徒が学ぶ喜び、自己の成長を実感できる学校
- ・教職員が安心して生活し、笑顔と活気にあふれる学校
- ・保護者や地域から信頼される学校
- ・教職員のコミュニケーションとリスペクトを基盤とした組織的な学校

(3) めざす教師像

- ・教育への使命感を持ち、自ら学び続ける教師
- ・生徒・保護者の思いに寄り添い、心を通い合わせ、信頼される教師
- ・生徒が理想とする身近な大人のモデルとなる教師
- ・英知を結集し、学校全体が一体となって取り組む教師

2 学校経営の理念

(1) 心身ともに健康で、豊かな人間性の育成

- ・自分への誇り、自己肯定感・自己有用感を高め、他者を思いやる心を育む教育を実践し、お互いを認め合える集団づくりを推進する。
- ・食育を含めた基本的な生活習慣の確立を目指した取組を推進する。

(2) 確かな学力の育成、主体的・対話的な深い学びの実現

- ・主体的・対話的な深い学びを実現し、思考力・判断力・表現力の向上を目指した授業づくりを推進する。

(3) 積極的な生徒指導の推進

- ・日々の授業や各種取組において積極的な生徒指導を推進する。

(4) 教育力・学校組織力の向上

- ・教職員が組織の一員として、学校教育目標達成のために協力・協働し、教育活動を推進する。

3 学校教育目標実現のための方策

(1) 心身ともに健康で、豊かな人間性の育成

- ① 学校や自分への誇り・自信、自己肯定感、自己有用感を高める活動の推進
 - ア 人間関係力・コミュニケーション能力などの育成
 - イ 丁寧で心のこもった挨拶の推進

- ② 学級会・生徒会やリーダー会などの活動を通してお互いを高め合い、認め合える集団の育成
 - ア 親和的な学級・学年・学校集団づくりを目指した取組の推進
 - イ 上級生への憧れを大切にしたい取組の推進
 - ウ 生徒を主体とした『学校・自分への誇りの醸成』・『課題解決』に向けた取組の展開
 - エ 全校体制による中学校古典教室の運営
- ③ 自己の健康管理に気を配ることができるなど、基本的な生活習慣の確立を目指した取組の推進
 - ア 食の大切さ、規則正しい生活リズムの向上を目指した取組の推進

(2) 確かな学力の育成、主体的・対話的な深い学びの実現

- ① 主体的・対話的な深い学びを実現し、思考力・判断力・表現力の向上を目指した教育課程の推進
 - ア 生徒の思考力や判断力、表現力などの育成を目的とし、探究的な学習を組み込んだ総合的な学習の時間等の年間指導計画の改善
(SDGs、ふるさと学習、キャリア教育を取り入れた教育活動の推進)
- ② 授業改善の推進
 - ア わかる授業、生徒主体の授業(授業者のコーディネート力の向上)の推進
 - イ 授業におけるICT活用(GIGAスクール構想)などの推進
 - ウ 計画的な校内研修の実施(積極的な外部講師・指導主事の招聘)
- ③ 組織的な学力向上対策の推進
 - ア 基礎的・基本的な内容の確実な定着に向けた取組の充実
 - イ 授業と家庭学習の連携を大切にしたい取組の推進
- ④ 夢や希望をえがき、将来に向かってたくましく生きるキャリア教育の推進
 - ア 学級活動や総合的な学習の時間における系統性のある指導の充実

(3) 積極的な生徒指導の推進

- ① 日々の授業や各種取組における積極的な生徒指導の推進
 - ア 生徒指導の4視点(自己存在感・共感的人間関係・自己決定・安全安心な風土)を意識した取組の推進
- ② 組織的な不登校対策の推進
 - ア 学年会や相談部会を充実させ、情報連携から行動連携へ、具体的な対応を検討実行
- ③ 特別支援教育の充実
- ④ インターネットの有効利用、ネットトラブルの未然防止に向けた取組の推進

(4) 教育力・学校組織力の向上

- ① 教員としての教育力の向上(「教員信条」に立ち返る)
 - 「教職の尊厳に畏(おそ)れよ」「教化の源泉は自己にあり」「廣く愛と敬とに生きん」
- ② 共通理解と共通行動を大切にしたい組織的な学校運営の推進
 - ア 学校経営への参画意識を高めるとともに、提案型学校経営を推進する
 - イ 教職員の英知を結集し、学校全体が一体となって取り組む
 - ウ コミュニケーションとリスペクトを基盤とした組織的な学校運営を推進する
 - エ 多面的な生徒への指導・支援のためのチーム学年制を導入する
- ③ 校内研修・GIGA研修・若プロ研修の充実による教師力の向上
 - ア 校内研修の質的向上を目指した取組の推進
 - イ 授業構成力、ファシリテーション能力、生徒指導力、不登校対応・生徒理解・特別支援教育への理解などを深め、教員としての資質を高めるための実践的な研修の実施
- ④ 教職員の働き方改革のさらなる推進
 - ア 校務のDX化を推進

(5) 保護者・地域・小学校との連携強化

- ① 保護者や地域の方々への丁寧な対応
- ② 学校の取組の積極的な発信(学校ホームページのさらなる充実)
- ③ 小中連携を推進し、9年間を見通した学びや育ちの実現
- ④ 中学校古典教室当番校として、全校体制で取り組み、生徒に成功体験を実感させるとともに、「歌舞伎のまち小松」を誇りに感じる取組の展開